



年頭のご挨拶

診療報酬審査支払事業の充実、
保険者支援に努め、医療費・介護
給付費の適正化につなげていく



熊本県国民健康保険団体連合会
理事長職務代理者 田嶋章二

明けましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

保険者の皆さまには、平素から国民健康保険事業の運営にご尽力いただき、心から敬意を表しますとともに、本会の事業運営につきましても、多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

国民健康保険制度は、創設以来、国民皆保険制度の中核として、地域医療の確保と住民の方々の健康の維持増進に大きく寄与してきました。

しかしながら、国保を取り巻く状況は、加入者の年齢構成が高いために医療費の水準が高いこと、また所得水準が低く保険料（税）の負担率も著しく高いことなどの構造的な問題に加え、超高齢社会の到来や経済の低迷などの影響もあり、財政運営は極めて厳しいものとなっております。

このような中、「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」では、国保の運営は都道府県が担うことを基本に、保険料の賦課徴収や保健事業は市町村の積極的な役割が果たされるよう適切な役割分担をすることとし、本年の通常国会に必要な法律案を提出することを目指すとされており、国保制度は皆保険制度導入以来の大きな改革時期を迎えようとしています。

本会といたしましては、このような国の動向を注視しながら、国保制度が円滑に推進されますよう、今後、積極的に熊本県並びに保険者との連携協力体制を築きながら、山積する諸問題の解決に取り組んでいく所存であります。今年も、本会の基幹業務であります診療報酬審査支払事業の充実・強化をはじめ、医療や介護のレセプト、健診データ等の活用により保健事業に取り組まれている保険者を積極的に支援し、地域の疾病予防、介護予防をより効果的に進めることで、医療費及び介護給付費の適正化につなげてまいりたいと考えております。

保険者の皆さまにおかれましては、引き続き本会に対しましてご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、国保にご加入の皆さま方お一人おひとりのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

